

ともに励まん



北海道旭川^{えいりょう}永嶺高等学校 2 年次だより 第 43 号 (通巻 88 号)

2019, 2, 14 (木)

新聞、読もう

よく「コラムを読め」「社説を読め」と言われます。読むだけでなく、本文をまるまる書き写す専用ノートが売られていたり、**要約文**を作成することも推奨されたりします。「今日のコラムを100字で要約しましょう」なんて具合にね。要約は、地道に、50本くらい続ければ、要約力も向上するだろうと思います。現代文や、小論文の成績向上につながることでしょ。

ただ、私が思うには(漢文では「^{けだ}蓋し」だね)、**社説やコラムで話題にされている事件や事柄の内容がわかっていないと、その論評であるところの社説やコラムで主張されている趣旨が理解できないものなんです。**読めばわかるってもんじゃない。ここが大事なところですよ。



そのためには、**日頃新聞を読んで、時事に精通し、記事の読み方に慣れる**ことです。繰り返すが、その延長線上の社説でありコラムであるからです。そして、新聞には新聞特有の見出し、記事の構成(リード～本文)などがあります。

もう一つ推奨したいのは、一般人(プロの新聞社員ではない人)が執筆したコラムというのがあります。道新で言うと「朝の食卓」です。こちらは、様々な分野で活躍しているひとがそれぞれの体験、視点で書いておられるので、じつにためになることが多いです。そして、専門家である記者の書くコラム(道新なら「卓上四季」、朝日新聞なら「天声人語」など、ふつう第1面に掲載)とちがって、一般の方が執筆するコラムは、話題にする事柄がかみ砕いて説明されていることが多く、わかりやすい。道新なら社会面のひとつ手前のページかな。プロの書く「社説」や「コラム」に挑戦する前に、ぜひ、「朝の食卓」を読むことから、新聞に慣れていってはどうだろうか？

新聞というものも、慣れないとすらすら読めないものです。一方、新聞を読むことは、現代文、小論文、地歴公民、面接、志望理由書などなど、さまざまな進路実現の場面で効果を発揮します。

電子辞書より紙の辞書、というのとおなじで、ニュースも新聞紙面で読むと、ついほかの記事の見出しに目が引かれると言うことがあります。本文を読まなくても、見出しで何があったか見当が付きたり、写真でおおよその見当が付きたりすることがあるものです。そうやって、世の中で起きていることをざっと俯瞰できる、そういうメリットが新聞にはあります。気に入った記事にしかたどり着かないネットのニュース記事とは目に入ってくる情報量が違うのです。おや？と思った見出しは、その記事の本文を読むといいのです。事故や事件、政治や経済、国内から国際問題まで、紙面を広げるとさまざまな情報提供の入口を大きく広げて皆さんを待っています。入試でも「時事問題」は様々な形で問われます。受験間際になってからでは遅い。いまから、新聞を読む習慣を！

新聞に慣れるための第一歩、一般人の執筆するコラム(読者の投稿欄でも良い)から始めてみてはどうでしょう。ぜひ、スマホを手放し、新聞を読みましょう！



【時事問題】

「働き方改革」「国際情勢」「米朝首脳会談(朝鮮戦争・休戦協定)」「18歳選挙権」「ジェンダー」「自然災害」「訪日外国人」「ムスリム」「平成」「人工知能」「臓器移植」「バイオマス」「ノーマライゼーション」……これらのキーワードについて、すらすら説明できますか？

「勉強はストレス解消」？

ストレス解消には勉強！

ものを調べることに没頭していると、イヤなことも忘れられる！

そんなわけで、私は古い文学作品の語句・表現調べノートを作っています。漱石の『吾輩は猫である』や森茉莉（森鷗外の娘）の小説、田山花袋の『田舎教師』など、明治、大正時代や戦後まもなくの頃といった、自分が生まれる前の、自分が体験していない近現代の社会が描かれた作品を読んでは、その時代特有の事物、風俗、語彙、言い回しなどを調べてはノートにまとめています。ただ小説を読むのではなく、調べながらノートする。まあ、授業の下準備と同じような作業です。



直接何かの役に立つというわけではありません。生産的な行為ではありません。ただただその作業中が楽しいのです。この、何かに没頭できるというのは、合わせなことです。ストレス解消の方法としては、まあ、健康的な方法ではないでしょうか？

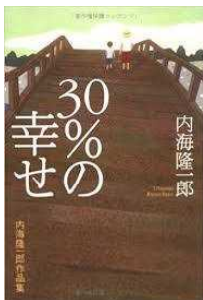
ストレスのたまりやすい現代ですけれども、ストレスがたまっただけで自傷に向かったり、他者への攻撃に走ったりしても何の解決にもならないと思います（攻撃をもじった「口撃」という語がすでに広辞苑に載っています。烈しく相手をののしることです）。また、逃避というのもあまり生産的ではないね？

重ねて言いますがけれども、精神的な「生きにくさ」の壁にぶち当たることの多い現代社会ですが、なんとか心身の健康をむしばむことのないように、その危機を回避していける処世術を身につける。いわば自分なりの、自分にもっともふさわしい予防策を、身につけておきたいものです。

どうです？ 勉強でストレス発散なんて？

ボーッとしたりチコちゃんに叱られるけれど、没頭することがあれば、ストレスも忘れられる。人間、好きなことに没頭している時間は、ストレスから解放されるものだと思います。学年通信を書くのは楽しい、ような気がします。それほど苦にはなりません。

逆に、ストレス発散のように「怒り」「不満」をぶちまけるという行為はどうなんでしょうか？ すっきりするのでしょうか？好きなことをしているのかな？ ストレスの解消になっているんだろうか？ そうではないような気がするんですね。いつもなにかに怒っている、そんな状態はあんまり健康には良くないんじゃないでしょうか。わが子の虐待をエスカレートさせていった千葉の父親が想起されます。



ほんのおすすめ

バレンタインにちなみ(?)、この時期、じんわり心が温まる小説（短編集です）を2冊紹介します。少しだけ人間がいとおしく感じられることでしょう。

テストが終わったら、少し読書もしてみないか？

『家族の言い訳』 森浩美（双葉文庫）

『30パーセントの幸せ』 内海隆一郎（市立図書館にあります）



☆☆☆ 来週の行事と時間割 ☆☆☆

2月		行 事 等 ①②は、1校時2校時をあらわします	★時間割を確認しよう						
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
18	月	職員会議	6時間						
19	火		7時間						
20	水	職員会議	6時間						
21	木	学年末考査(1)	4時間						
22	金	学年末考査(2)	4時間						

いよいよ学年末考査目前！

（文責 伊丸岡）